

ビロビジャン市市制80周年記念事業訪問報告

新潟市代表団の一員として市制80周年記念事業に参加するため、9月5日から10日までの日程で、ロシア・ビロビジャン市を訪問してきました。

○新潟市代表団名簿

新潟市副市長	高橋建造
新潟市議会副議長	阿部松雄
新潟市議会議員	吉田孝志
新潟市議会議員	山際 務
新潟市議会事務局長	佐藤秀則
新潟市国際課長	岩渕武紀
新潟市国際交流員	仏 ユリヤ

他に、文化団として 新潟清心女子高校ダンス部、文化団の通訳として新潟市国際課・目黒太幹主事が随行

○訪問日程 平成29年9月5日(火)～10日(日)

9月 5日(火)	新潟駅出発 成田空港経由 ハバロフスク空港着
9月 6日(水)	ハバロフスク市内視察 ハバロフスク市議会・市行政府と昼食会 ビロビジャン市着
9月 7日(木)	ビロビジャン市長表敬 市内視察
9月 8日(金)	戦勝記念公園献花 市内視察 杉原千畝記念銘板落成式 記念式典・記念コンサート
9月 9日(土)	市内視察 姉妹都市コンサート
9月10日(日)	ビロビジャン市出発 ハバロフスク経由 成田空港経由 新潟駅着

○ハバロフスク市内視察

ビロビジャン市へ向かう前に、同じく姉妹都市であるハバロフスク市内を文化団と共に視察。郷土史博物館、アムール川展望台、スパソ・プレオブラジェンスキー大聖堂、栄光広場を視察後、ディナモ公園に移動し、市行政府職員の案内で2005年に建立されたハバロフスク市との姉妹都市提携40周年記念碑を確認した。



(写真 左)

郷土史博物館前の亀趺碑

(写真 右)

ハバロフスク市と新潟市との
姉妹都市提携40周年記念碑



○ハバロフスク市議会・市行政府会談（昼食会）

サフコフ議長より、冒頭の歓迎挨拶の後、ハバロフスク市についての概要説明があり、注目すべきは年間予算の1/2が教育費であるということであった。その後の発言では「来年は大統領選挙に加え知事選と市長選も行われることから、政治的に大きな動きがある可能性がある。そんな中で新潟市に期待することは、ハバロフスク市とビロビジャン市の橋渡しをお願いしたい。」とのことであった。また、2013年にハバロフスク市議会と新潟市議会とは覚書を交わしたことであるが、これを見直してはどうかとの提案があった。具体的な内容については未定とのことであり、現役世代だけでなく先輩議員等も含めて検討したいとのことであった。その他、議会とそれぞれの市における青少年団体との交流や協力についての要請があり、お互いに方向性を共にしていくことを確認した。



(写真) 右から一人目がサフコフ議長

○ビロビジャン市長表敬訪問

コロステリョフ市長より歓迎のあいさつと同席者の紹介の後、高橋副市長より日ロ沿岸市長会議への参加も含め感謝のあいさつと新潟市代表団の紹介を行った。

コロステリョフ市長からは、「2005年に姉妹都市提携を引き継ぎ交流が進んでいる。2年前にウラジオストクで篠田市長と会談した際には経済発展について話をする事が出来た。また、先般出席した日ロ沿岸市長会議では1日目に経済、2日目の観光についてのテーマで行われたが、内容は充実し、お互いに興味を持ち始めた実感できた。今後の可能性として大豆輸出やビロビジャン市は薬草や山菜が豊かであることからこれらの輸出も検討したい。その他ビロビジャンでは廃材からチップを作り、ペレットに加工して日本へ輸出するプロジェクトに関して、現在日本側から協力をもらっている。また、ビロビジャン市では木材のチップ工場が無いことから建設したいと考えているが新潟市の協力もお願いしたい。文化交流も大切だが経済協力が必要と考えている。」との意見が寄せられた。

高橋副市長から、「日ロ沿岸市長会の構成メンバーは身近な関係である。大豆輸出に関しては専門家と検討中であり、薬草についても関心が高い。木材チップ工場建設も含め専門家と検討し協力していきたい。」と返答。

続いてヴォロビジット議長から80周年記念によるこそお越しいただいたとの感謝の言葉があり、滞在中には緑豊かなビロビジャン市の生活などを吸収して欲しい旨の発言があった。

阿部副議長からは代表団として市制80周年記念へのお祝いの言葉の後、2015年9月に開催された北東アジア地区地方議会議長フォーラムへのコピョンキナ副議長出席に対する感謝を述べ、両市の協力関係が継続し、若者と文化の交流、経済面での交流が発展することを期待しているとお伝えした。

最後にコロステリョフ市長より文化団の派遣に対する感謝の言葉があり、ビロビジャン市の魅力とともに記念行事も充実しているので楽しんでくださいとの言葉の後、記念コンサートの切符の贈呈を受けた。



(写真 左上) ビロビジャン市側
コロステリョフ市長のほか、
ヴォロビジット議長、
アブروف副市長、コピョンキナ副議長らが同席



(写真 右上) コロステリョフ市長と高橋副市長

(写真 右下) ヴォロジビット議長と

握手を交わす阿部副議長



○ビロビジャン市内視察

9月7日（木）

ユダヤコミュニティセンター「フレイド」、第1番ギムナジヤ（学校）、ブラゴベージェンスキー聖堂、市博物館を視察。ビロビジャン市はユダヤ自治州に属するため、ロシアといえども少し文化的に違う印象を受けた。また学校視察において、市の予算総額の8割が教育費とのことで、そのためか多くの優秀な人材を輩出していることが見受けられた。聖堂や市博物館はビロビジャン市の歴史や成り立ちを深く知る上でも貴重な体験となった。



(写真 左上)

コミュニティセンター
「フレイド」



(写真 右上、右下)

第1番ギムナジヤ



(写真) 左下

ブラゴベージェンスキー
聖堂



9月8日（金）

戦勝記念公園にて献花の後、第45番保育園、食肉加工場を視察。

保育園は2～7歳を7時～19時まで受け付けており、3食とおやつ2回が提供されながら保育料は月額約4,000円とのことであった。

食肉加工場については、ユダヤ自治州は人口16万人である中、そのうちの1%近い1,500人を雇用している。社長は市内にショッピングモールを建設中とのことであり、更なる雇用が期待されている。午後はビロビジャン駅において杉原千畝記念銘板落成式に出席し献花。



(写真) 第45番保育園



(写真) 食肉加工場

○ビロビジャン市市制80周年記念式典・記念コンサート

駅から出発したカーニバルパレードを見送り、州立フィルハーモニーで開催された記念式典及び記念コンサートに出席した。

記念行事には、新潟市代表団のほかに、同じくビロビジャン市と姉妹都市提携をしている中国の伊春市、鶴崗市、友好都市である韓国の議政府市、そしてビロビジャン市などからの移住者が多いイスラエルのナザレ市の各代表団が招待されていた。

コロステリョフ市長の祝賀挨拶に引き続き、各都市からの文化団によるステージが披露され、新潟市文化団として同行していた新潟清心女子高校ダンス部は、樽砧の演奏や躍動感あふれるダンスを披露し、市制80周年の記念ステージに華を添えるとともにビロビジャン市で新潟市の若い力、文化の魅力を発信した。



(写真) 記念式典、コンサート

○ビロビジャン市内視察、姉妹都市コンサート

9月9日(土)

この日の市内視察では、アプロフ副市長のご案内により、コロステリョフ市長が元会長であるバイク愛好家の集まりに参加。ほとんどのバイクは日本車であった。

生鮮品が並ぶ市場の視察では、出店料が安価なこともあってか多くの出店者があり、活気がある印象であった。

午後は屋外特設ステージで開催された姉妹都市コンサートに出席。ビロビジャン市と姉妹都市を結ぶ都市から派遣された文化団の演奏においては前日の記念コンサートに続き清心女子高ダンス部が出演し、朱鷺をイメージした舞いでは大きなジャンプもあり感嘆の声が上がるほど観客を魅了していた。夜も引き続き祝賀コンサートが開催され、ロシアで以前人気のあった「オタワン」のコンサートもあり、市民がそれぞれ楽しんでいる様子であった。なお、それぞれの会場やイベントで賑わいを見せながら、今回の市制80周年に関わる総予算は1,000万ルーブル(日本円で約2,000万円)と非常に低額であることに驚かされた。



(写真) バイク愛好家



(写真) 市場



(写真)
祝賀コンサート



○所見

国土が広いロシアであり、ハバロフスクとビロビジャンにおける街の印象は全く違ったものであった。但し、国から地方への配分の割合、額は不明であるものの、どちらも年間予算に占める教育費の割合が高く、将来を背負う子どもたちへの手当てが厚いことがうかがわれた。しかしながら、教育費にお金をかける分だけインフラ整備は遅れがちのようで、道路は至る所で損傷が見られたほか、バリアフリーについてはあまり意識されていないようである。

ハバロフスクは滞在時間が短く多くを知ることが出来なかったが、ビロビジャン市においては市制80周年を祝う様々なイベントに加え、アブロフ副市長、アヴァチェワ教育課長随行のもと、今回の訪問の機会に姉妹都市であるビロビジャン市の魅力を我々に知ってもらおうと、市内各所を細やかに案内していただいた。街は緑が豊富でロケーションの良い場所も多く、治安に対する不安もほとんど感じる事が無いほどで、結果として、落ち着いた印象を受けた。話を伺った中で、長期休暇があっても市民はビロビジャンを離れることが無く、釣りなどの趣味に講じたり、家族で過ごしたりすることが多いそうで、今回実際に滞在した印象からも頷けることであった。

最後に、ビロビジャン市はまだまだ発展の可能性があり、市長表敬訪問の際にも話が出た経済協力については、本市の産業発展にもつながる可能性があることから、姉妹都市として、お互いの向上のためにも協力していく必要があると感じた。

今回の代表団に参加させていただいたことに感謝し、簡単ではあるが報告とさせていただきます。